



猛暑の二〇一二非核・平和行進報告(昌一金属支部機関紙より転載)

子どもたちに核のない未来を残そう!

七月十八日十四時より

「子どもたちに核のない未来を」のテーマで二〇一二非核・平和行進に参加してきました。

被爆六七周年の非核・平和行進が、昨年は台風で中止されましたが、今

年は再び西区役所の裏に

ある新町西公園より港区・

天保山公園まで約六キロ

の猛暑の中ではありまし

たが、全港湾、港合同、

南大阪平和人権連帯会議

を先頭に、各単産・単組

をはじめ子ども・孫の未

来の平和の為に結集され

た多くの方々が、最後ま

で大きな声を張り上げて

デモを貫徹してきました。

関西生コンの仲間が熱

中症対策で水分の補給は

していましたが、塩分不

足にならない様に塩分補

給の飴を皆に配って下さ

いました。

さて、今回の非核・平

和行進のメインスローガ

ンは「核も戦争もない平

和な二十一世紀に!」

「繰り返す原発震災!

めざそう!脱原発社会」

でした。

平和行進で「ノーモア・

ヒロシマ、ノーモア・ナ

ガサキ」「核兵器のない

世界を」「ノーモア・フ

クシマ」と核のない世界

を訴えてきました。又、

野田政権による「大飯原

発再稼働反対」そして、

「日米軍事同盟反対」

「消費税増税法案を強行

可決反対」「沖繩の普天

間基地へのオスプレイ配

備反対」「空飛ぶ棺桶才

スプレイはいらない」

「辺野古新基地建設反対」

「沖繩の米軍基地を撤退

し米軍は沖繩から出て行

け」「大阪港の軍港化反

対」「大阪港に軍艦は来

るな」又、「橋下市政反

対」橋下市長の「教育基

本条例や職員基本条例強

行成立反対」「地下鉄の

民営化反対」「市バスの

民営化反対」「道州制反

対」(大阪都構想)「日

の丸起立強制反対」「公

務員攻撃反対」等、他に

沢山ありましたけれど、

シュプレヒコールを最後

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

昌一金属支部

M

七・一八非核平和行進デモに参加させて頂いた皆さまでした。

真夏のうだ

るような暑さと日差しの中のデモと言う事で先輩組合員の皆さんに絶えず水分の摂取をするよう忠告していただきおかげでデモを最後まで貫徹する事が出来ました。

デモのテーマである核は東日本大震災発生以来世間でその是非が問われる日々が続いていて、八月になると第二次大戦時に「広島と長崎に米国」によって投下された原子爆弾も毎年取り沙汰されます。戦争における唯一の被爆国たる日本が戦後核の

平和利用として原子力発電を国策として推進してきましたが、天変地異ひよるとたび起これば原子力による被害は取り返しがつかなくなるほどの事態を引き起こしてしまいます。何十年と積み上げられてきたシステムなので、すぐには無理でしょうが、原子力にとってかわるエネルギーやシステムが早く日本に根付いて欲しいと思います。



昌一金属支部

K

まで貫徹ができました。子供たち孫たちの未来の平和を守る為にも、この非核・平和行進は絶対に永遠に必要ななと思えました。

去年もこの平和行進に当たっていたのですが、台風という事で中止となり、今回が初参加となりました。

当日はほぼ曇りが無く、びっくりする位の快晴でした。気温もかなり高く、その中を二時間行進するのはとても大変でした。行進途中で前におられた方から、熱中症予防の塩飴を頂きました。その甲斐あったか、無事に行進しきる事

が出来ました。

今回はやはり原発再稼働反対も訴えの中に入っていました。

すでに原発は再稼働しており、それを止める事はなかなか難しい事かもしれませんが、こういった声をあげる人がいないと止められる可能性はゼロになってしまふと思います。

この行進がいかに大変で大切かという事を身をもって知る事が出来たので、参加させて貰って良かったと思います。